

学生による授業評価が授業 改善につながる時

Peter Seldin

Pace University
Pleasantville, NY, USA

目的

- 教授方法の改善
- 人事上の処遇決定のための追加的なデータ提供

授業評価に関する研究

- 信頼性
- 妥当性
- 関連性

一般的な否定的意見

- 学生は卒業してはじめて適切に教員を評価できる
- 学生は概して教員に対して厳しい評価をする

一般的な否定的意見(続き)

- 単一の授業において好意的でない評価が出た場合に不利になりやすい
- どういう教員が優れた教員かという点で学生と教員側で意見が異なる

学生による授業評価の設計

- 既存のフォームの適用
- アンケートのフォーマット
 - 長さ
 - 項目

授業評価の実施

- 避けるべき問題点
- スケジューリング

授業改善のための教員との話し合い

ガイドライン:

- お互いに信頼と尊敬を示し合う
- 教員の教え方やゴールに照らして意見を述べることを推奨する
- 教員の性格でなく授業への取り組みを中心とした話し合いを行う

ガイドライン (続き)

- 優秀な教員が何を行い、何を行っていないかを話す
- 授業における問題点について教員に改善策を与える
- 明確かつ具体的に